

題名	Peace is not free				
学校名	旭岡中学校	学年	2年	氏名	吉岡実音

	「Peace is not free (平和は無料ではない)」	これは
私	が	長岡市のホノルル訪問事業に参加したと
き	に	エドウィン・ホーキンスさんから言われ
た	言	葉です。ホーキンスさんはその言葉の意
味	を	私たちにどう感じてほしかったのか、今
で	も	考えさせられます。長岡で暮らしている
と	「	平和」について考える機会が多いと感じ
て	い	ます。それは平和を願う長岡花火が市民
に	と	って生活の一部になっているからかもし
れ	な	いし、小学生から戦争や平和に関する授
業	が	行われ、平和のプログラムに参加する機
会	が	多いからかもしれません。私は小学6年
生	の	時、長岡市の米百俵未来塾に参加しまし
た	。	その講座の中で現役の花火師の方から長
岡	花	火の意味と大切さについてお話を伺い、
長	岡	の花火が「慰霊」、「復興」、そして「平和
へ	の	願い」を込めているということを改めて
知	る	ことができました。そして、その意味を

長岡市

次の世代に伝えようとしている人や、その思いに共感し花火を打ち上げたり募金活動に参加したりする人がたくさんいること、その思いと伝統を毎年形にしてくれる花火師の努力があること、花火という平和の象徴がこの町に深く根付いていることを学びました。小学校の総合的な学習の時間では、ハワイとオンラインで交流し、戦艦ミズーリや太平洋戦争について現地の人から話を聞きました。そこで学びがきっかけとなり、中学1年生の時に長岡市のホノルル訪問事業に参加し、現地へ行く機会を得ました。ホノルルでは海外からの視点で戦争・平和について学ぶことができました。平和というのは国や人種を超え、世界共通の課題であること、そして世界中の誰もが平和について向き合わなければならぬということを感じました。それと同じ時に、ハワイの人々も平和への強い思いを持っていること、多くの人に戦争の残酷さを知ってほしい、周りの人に伝えてほしいと思っ

ていること分かりました。今までの経験を
踏まえ、私が考える「平和」は「誰も笑顔で
幸せに暮らせること」だと思いました。そし
てその平和のために自分に何ができるのかを
考えてみました。1つ目は、平和についてこ
れからも学び続けることです。自分で調べる
だけでなく、実際に現地に行つて見聞きする
ことにより、様々な角度から平和について考
え、深く学ぶことができると思えます。これ
からも話を聞いたたり現地に行つたりする機
会をたくさん得ていきたいです。2つ目は、異
文化を持つ人々と交流し、共感することです。
ハワイの人々と交流して、異文化を理解する
こと、受け入れること、尊敬することの大切
さや、たくさんの人に発信することの良さに
ついて学びました。また、話す言語も生活習
慣も違う人々との交流の難しさも身をもって
感じることができました。人はそれぞれ考え
方も価値観も違います。そうした中でまずは
相手の考えを受け入れ、理解する努力が大切

